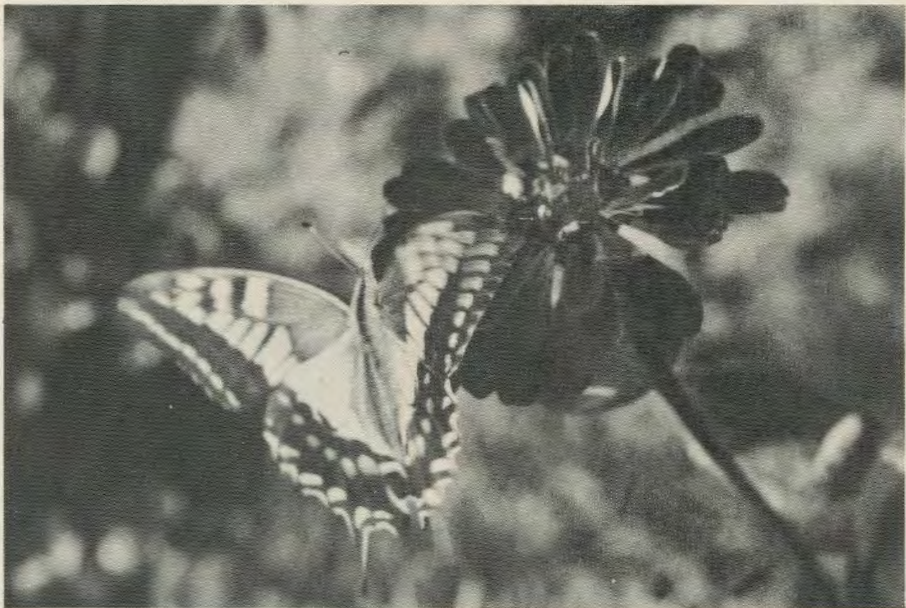


光市医師会報

昭和54年11月発行

No. 87



キアゲハ

渡辺 幹先生

光市医師会

医師会月間行事

◎ 定例理事会

11月13日(火) 午後7・30

場所 光市医師会館

○報告連絡事項

(1) 第85回定例代議員会報告

山口県医師会定款改正の要点につ
いての報告

(2) 諸会議の行事予定について

11月15日 医師会長、総務担
当理事、事務局合同会議

11月18日 正副会長会議(萩
市)

11月22日 産業保健担当理事
協議会

(3) 労働保険事務組合研修会の概要

○協議事項

(1) 税務研修会の開催

11月27日(火) 午後7・00
より

(2) 忘年会の実施について

12月15日(土) 予定 場所に
ついては高橋理事に一任

◎ 税務研修会

11月27日(火) 午後7・00

場所 光市医師会館

講師 光税務署総括国税調査官

香河 高明氏外一名

改正された5段階方式税制を中心に
説明があった。

◎ 月例会

11月27日(火) 午後8・00

場所 光市医師会館

○報告事項

(1) 代議員会における県医師会定款改
正の内容について報告

(2) 医師会長、総務担当理事、事務局
合同会議における定款改正の要点と
開業規制と独禁法、月医、県医の方
針等について報告

(3) 正副会長会議について報告

(4) 産業保険担当理事協議会について
報告

(5) 雇用安定事業等各種給付金の説明
会報告

(6) 忘年会の実施について

(7) 臨床検査センターについて

◎ 臨時理事会

例会終了後

新規医療機関開設と入会申出による件
について、適正配置委員会に答申を求め
る件について

◎ 光市医師会ゴルフ大会

11月25日(日) 光市医師会のゴル
フコンペを、久しぶりの光カントリーク
ラブで行った。昨年度に比し、守友、近
藤、河内山(正)各先生らの若い姿がみ
られないのが残念であった。曇天ではあ
ったが、寒くなく、又、風もない丁度よ
いコンディションであった。しかし、ス
コアの方は各プレイヤーの顔からみて
必ずしも満足そうではなかったようだ。
亀田先生が「イン」で、大野先生が「ア
ウト」でハッスルされ優勝、準優勝を夫
々獲得された。富恵先生は前半とばして
好調であったが、X先生に足を引張られ

てか、O・Bをつぶけて出すなど大あれとなつて、B・Bに甘んじられた。

しかし、少人数ながら和気藹々の楽しい1日であった。

	OUT	IN	GROSS	HDCP	NET	RANK
亀田	50	47	97	22	75	優 勝
大野	43	49	92	15	77	準優勝
竹中	53	49	102	25	77	3 位
高橋	51	55	106	28	78	
高島	57	53	110	30	80	
富恵	58	51	109	27	82	B・B
福本	69	67	136	36	100	

My Hobby

キアゲハの訪花

渡辺 幹



毎年、彼岸桜の咲く頃、モンシロチョウやキチチョウに次いでキアゲハの春型が姿を見せはじめる。黄色と黒の斑紋を持つ中形の美しいアゲハである。幼虫は黄緑と黒と赤の縞模様をして、一見毒々しい格好をしているけれど全く人畜無害、但し頼まれなくとも畑のパセリやニンジノの葉や茎を丸坊主に刈りとつて呉れる。そのルーツは大変古い。まだ日本が大陸と陸続きの中期洪積期、或はもっと前頃、今から数十万年も

前からの日本の先住者である。又、その版図も旧北区全域、西はヨーロッパの果まで、南はヒマラヤ、東はベーリング海峡を越えて北米に及んでおり、ナポレオンやジンギスカンどころではない。この逞しい生活力を持つ蝶は夏ともなると我が家の庭の百日草を訪れ、吸蜜に余念がない。カメラを近づけても気にもとめず、黙って撮らせてくれるのだけど、センスの悪い私にはどうもうまく撮れない。

今月の書棚

病院のもうひとつの役割を呈示

柏木哲夫 著

「死にゆく人々のケア 末期患者への チームアプローチ」

本書は、非常に具体的なケアについての記述と、安楽死とは根本的に異なる観点に基づいた報告がなされており、「死をむかえようとしている人々のケアの哲学」ともいえる医療チームの姿勢と、死をむかえる人が背負った様な困難な問題をチームとともに克服することにより、尊厳な死をむかえられるようにケアすることの尊さを学ばせる。

A5判 165頁 ¥1200円

医学書院刊

手強いが貴重な一書

イヴァン・イリッチ著

金子嗣郎 訳

「脱病院化社会——医療の限界」

カトリックの神父の中には、日本の歴史上に於ける最澄のように、恐ろしい程優れた広い学識を持った人がいます。著者もその一人で1971年から次々に注目すべき著書をあらかし話題となっています。

現代の医療の状態を、高い次元からとらえており、衝撃的な発言が各所にあるが、我々医師が謙虚に受け止めなければならない貴重な一冊でもあると思はれます。

但し、難解で手強いです。

46判 325頁 ¥1500円

晶文社刊

あとがき

光市医師会のメンバーの趣味も多種多様まだまだ沢山あると思います。しかし、私の知っている限りでは 渡辺幹先生のチョウはその中で最も世間に名の知れた有名なもので超一流品ではないかと思えます。チョウに興味を持っている人で渡辺先生の名前を知らない人はないと云われています。いただきました原稿を勝手ですが、半分に分けて次号に続けさせていただきます。来月を御期待下さい。いつものことながらいただいた写真はきれいなカラー写真ですけど、白黒で申し訳ありません。

発行所	光市医師会 TEL 0833 72-2234
発行者	大野宗二
編集者	会報編集委員会
印刷所	光市御崎町 中村印刷株式会社